



SS－MIXの概要と普及推進について

平成19年7月13日

SS－MIX普及推進コンソーシアム会長
星久光（株式会社 NTTデータ）

SS-MIXとは



■ 厚生労働省電子的診療情報交換推進事業

(SS-MIX; Standardized Structured Medical Information Exchange)

H18厚労省医政局「標準的電子カルテ情報交換システム開発委託」

(委託先・・静岡県)

■ 事業概要

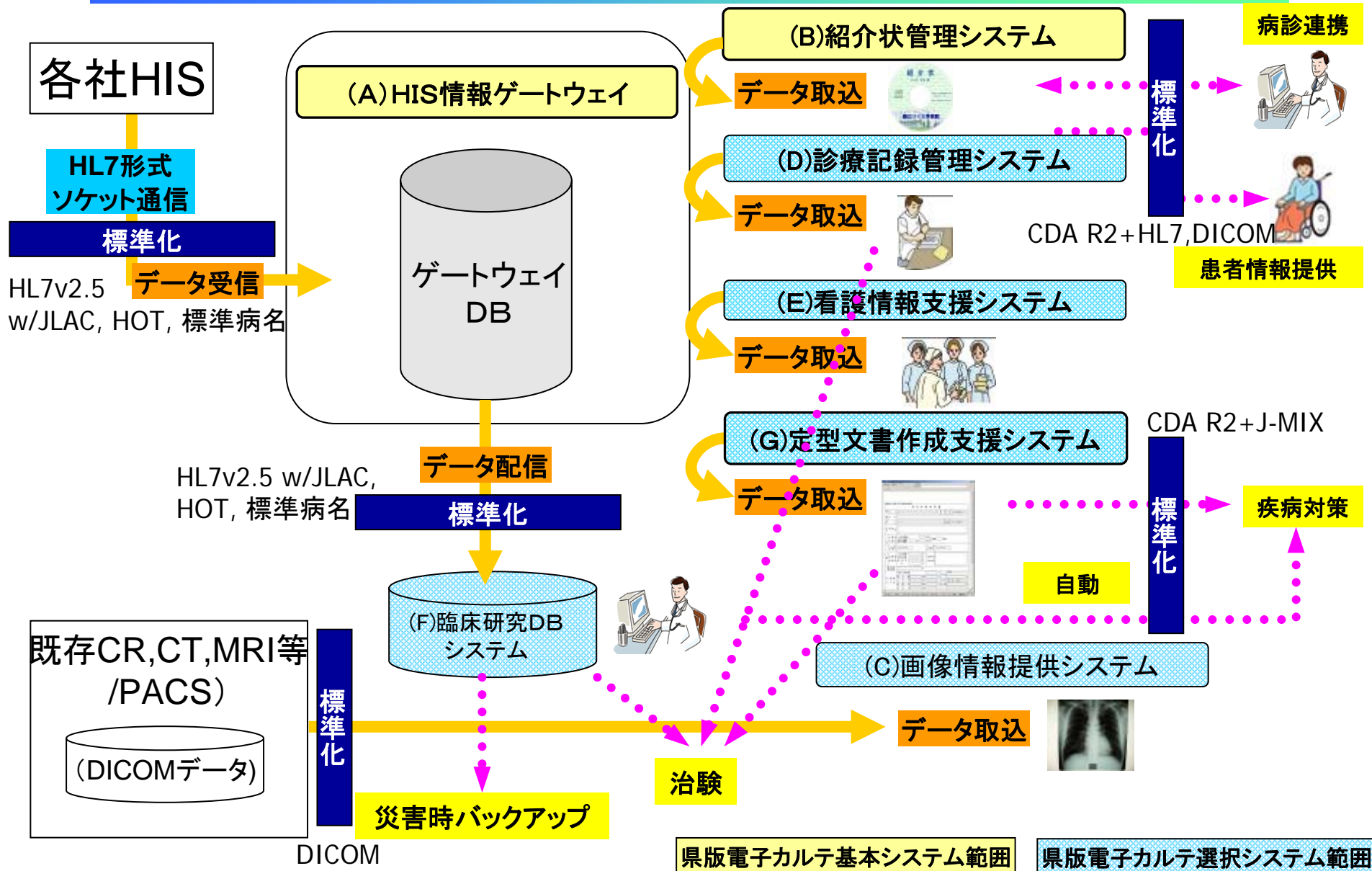
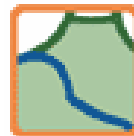
平成16年度から静岡県の医療機関間の診療情報交換を推進するために開発が進められている電子カルテシステムは、国が実施した標準的電子カルテ推進委員会や日本医療情報学会が示す方向性や国の研究事業の成果等も踏まえ、国の施策の動向を忠実に反映しており、当該システムの長所を礎に他の都道府県においても診療情報交換が可能な標準的な電子カルテシステムを静岡県と共同開発し、全国への展開を図る事業である。

■ 特徴

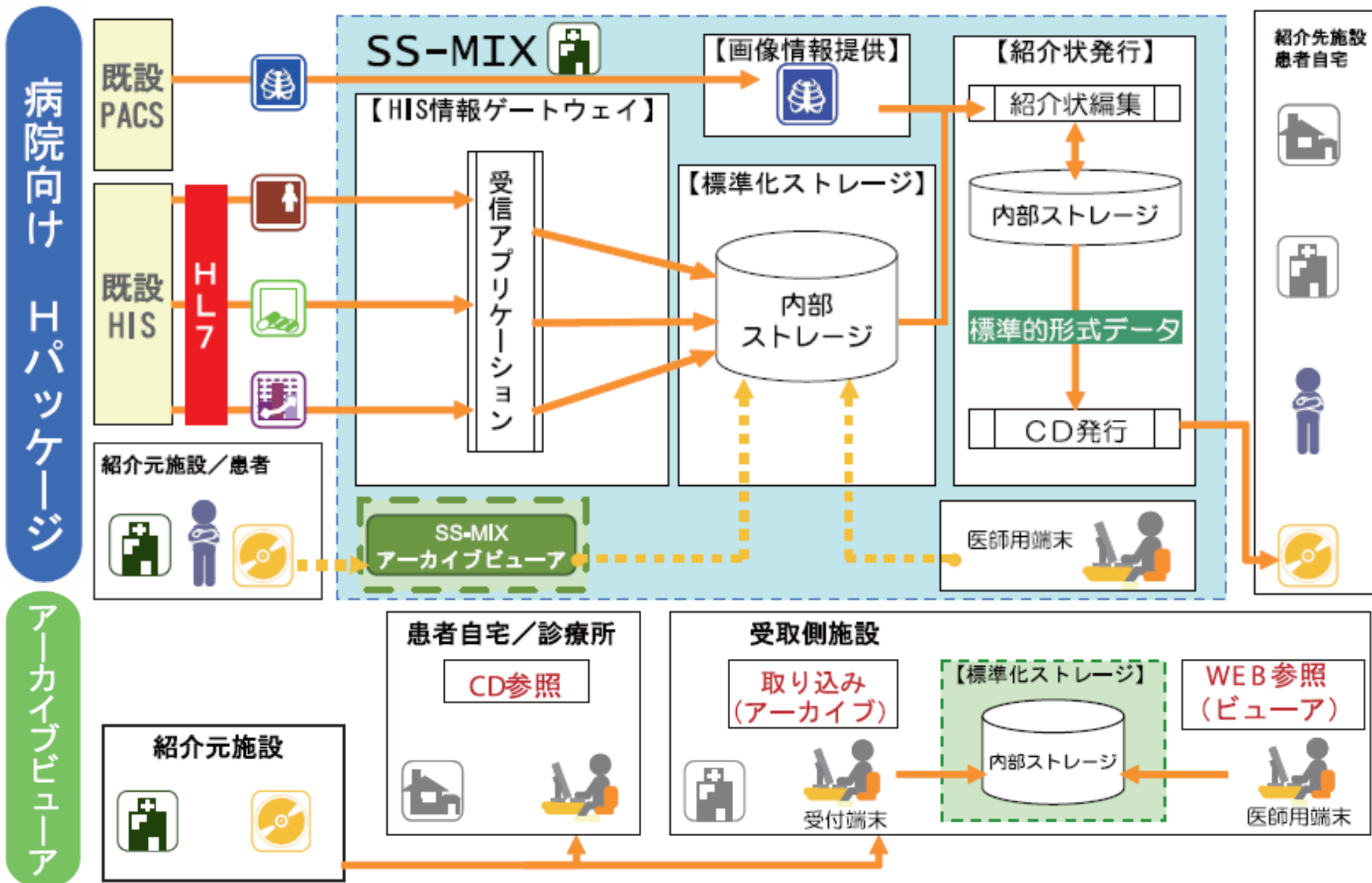
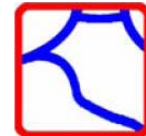
- 医療機関の既存のITインフラから各種情報を取得
- 標準的な形式の情報出力を可能にする

各種情報を受け取れる、標準化した情報を出力できることに特化したシステムを無償で配布

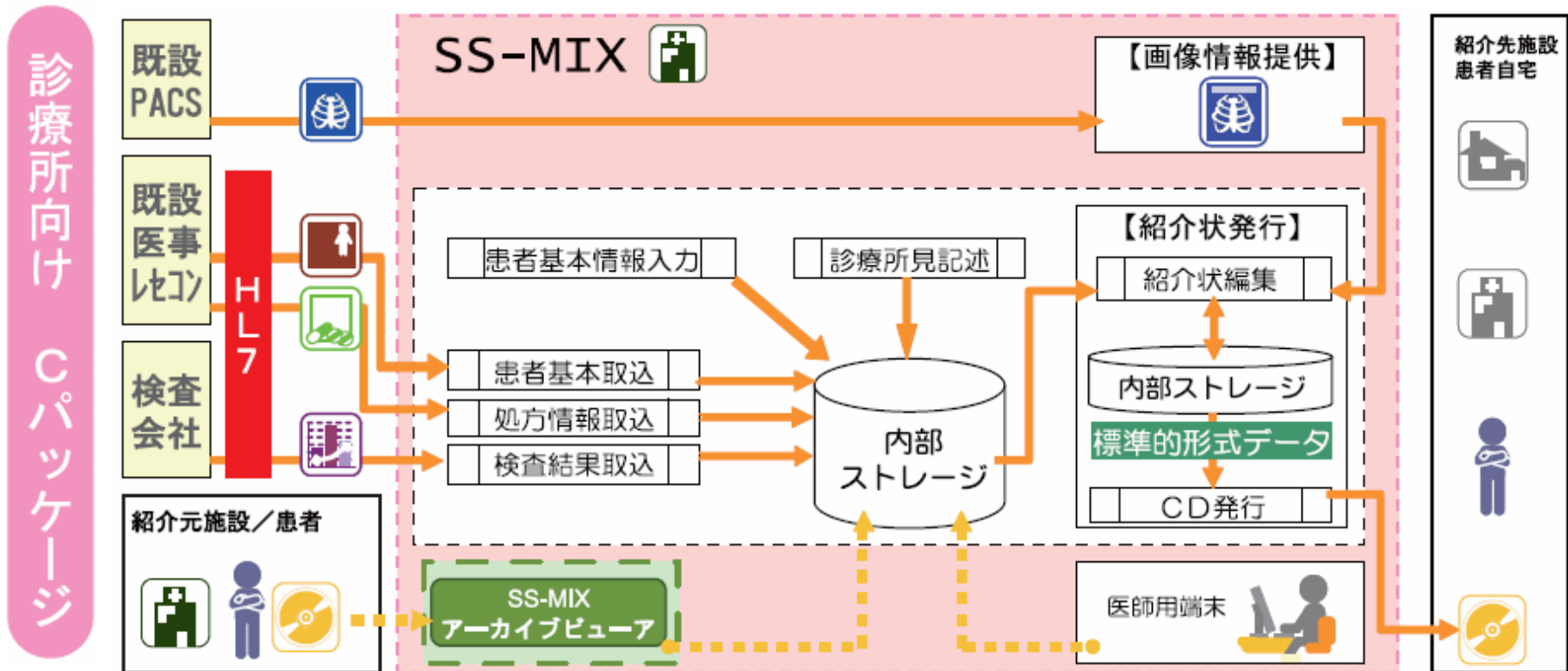
静岡県版電子カルテシステム 概念図



SS-MIXにおいて実現する機能(H)



SS-MIXにおいて実現する機能(C)



【凡例】



...SS-MIX 導入施設



...SS-MIX 未導入施設



...患者自宅/診療所等



...DICOM



...患者基本情報



...処方情報



...検体検査結果



...電子診療データCD/診療情報提供書CD:参照内容は診療情報提供書/処方情報/検体検査結果/検査画像 (HL7 CDA R2/HL7 Ver2.5/DICOM/ビューア同梱)



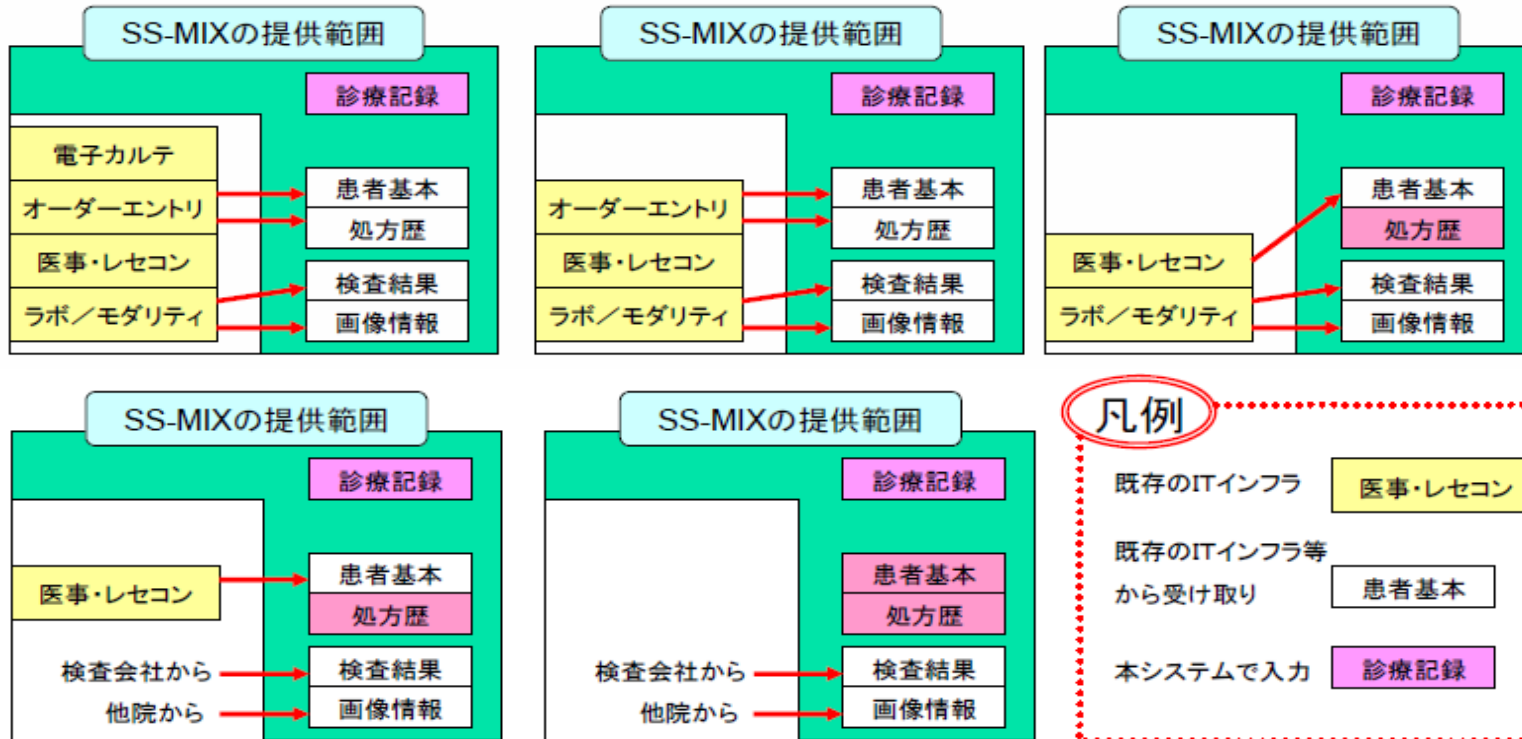
医療機関内既存ITインフラとの接続

本システムへの情報入カソース(既設のシステムから)

機能	規約・形式	電子カルテ	オーダーエントリー	医事・レセコン	ラボ/モダリティ	その他
患者基本	HL7 Ver2.5		○	○		
処方歴	HL7 Ver2.5		○	○		
診療記録	CDA R2					入力
検体検査結果	HL7 Ver2.5		○		○	
画像情報	DICOM				○	PACSも可

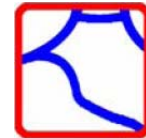
本システムからの情報出力	
診療情報提供書	CDA R2
診療データ提供	CDA R2

CD-R作成(ビューア搭載、専用のソフト等不要)



医療機関が既に有しているインフラを活かしつつ、標準的な情報の交換が可能になる

SS-MIX普及推進コンソーシアム



■ 設立:平成19年3月14日

■ 設立主旨(抜粋)

診療情報交換推進事業(SS-MIX)の開発におきましては、静岡県版電子カルテシステムの開発に関わったJV企業が中心にその活動を担っておりますが、今後の診療情報交換推進事業(SS-MIX)の普及におきましては、当該事業に関心を持つ全てのメーカー、ソフト関連会社、販社など、医療機関のITに関連する企業が広く参加し、協調して推進することが望まれております。

従って、従来のJVにとらわれず、関心を持つ全ての企業が平等に関連する情報を共有し、協調して活動を行える場として、「SS-MIX普及推進コンソーシアム」を設立する事にいたしました。

■ 業務内容

- ①「SS-MIX」および「静岡県版電子カルテシステム」の仕様などの、関連する情報の共有
- ②厚生労働省や静岡県、静岡県病院協会など関連する団体からの情報の共有
- ③普及推進のための広報活動の検討
- ④普及推進のための講演会などの開催
- ⑤「SS-MIX」および「静岡県版電子カルテシステム」についての技術情報についての研修会などの開催
- ⑥企画認定作業の支援
- ⑦普及の後の運用・保守体制などについての検討
- ⑧その他「SS-MIX」および「静岡県版電子カルテシステム」に関連する事項に対する支援



- 7月13日
 - HL7セミナー

- 9月(予定)
 - JAHIS会員向けセミナー

- 11月23日
 - JCFMI SS-MIXシンポジウム

- 1月末～2月初旬
 - SS-MIXセミナー
 - 事例紹介



ご清聴ありがとうございました

電子的診療情報交換事業に関心を持たれる企業の
積極的な参加をお願いいたします